

# 学会印象記

## 再生医療ビジネスシンポジウム in KRP Part XI

2018年7月31日(火)

京都リサーチパーク 西地区4号館 地下1階 バズホール(京都市下京区)

主催：京都リサーチパーク株式会社

城 潤一郎

京都大学ウイルス・再生医科学研究所 生体材料科学分野

京都リサーチパーク(KRP)株式会社主催の再生医療ビジネスシンポジウム in KRP Part XIが、2018年7月31日、京都リサーチパークにおいて開催された。京都リサーチパーク株式会社は、再生医療分野におけるモノづくり企業の参入を促進することを目的として、「再生医療サポートプラットフォーム」(<https://www.krp.co.jp/sangaku/bio>)を設立し、活動を行っている。再生医療ビジネスシンポジウムは、その活動の一環であり、今回で11回目となる。今回は、「再生医療の新たな時代」をテーマとして、モノづくり企業・ベンチャー企業など約230名が参加した。

再生医療ビジネスシンポジウムでは、オーバー

ビュー、基調講演、企業講演、およびパネルディスカッションが行われた。オーバービューでは、京都大学ウイルス・再生医科学研究所教授の田畑泰彦先生が、再生医療の現状とこれからの方向性を紹介しながら、再生医療におけるモノづくりの重要性を強調された。基調講演では、理化学研究所生命機能科学研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクトプロジェクトリーダーの高橋政代先生が、ヒトiPS細胞由来細胞(網膜色素上皮細胞および視細胞)を用いた網膜再生医療の現在と将来について講演された。明確な戦略の基に、網膜再生医療が着実に進歩していることに感銘を受けた。企業講演では、株式会社メガカリオン代表取



パネルディスカッション